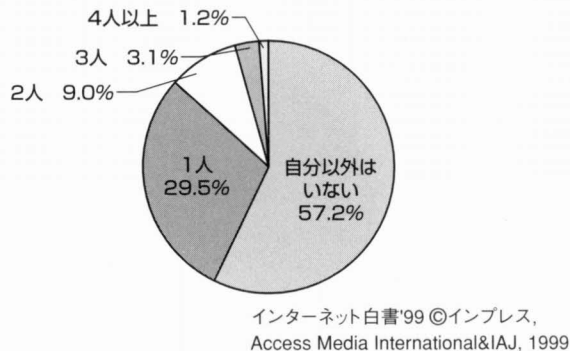


第2章 個人

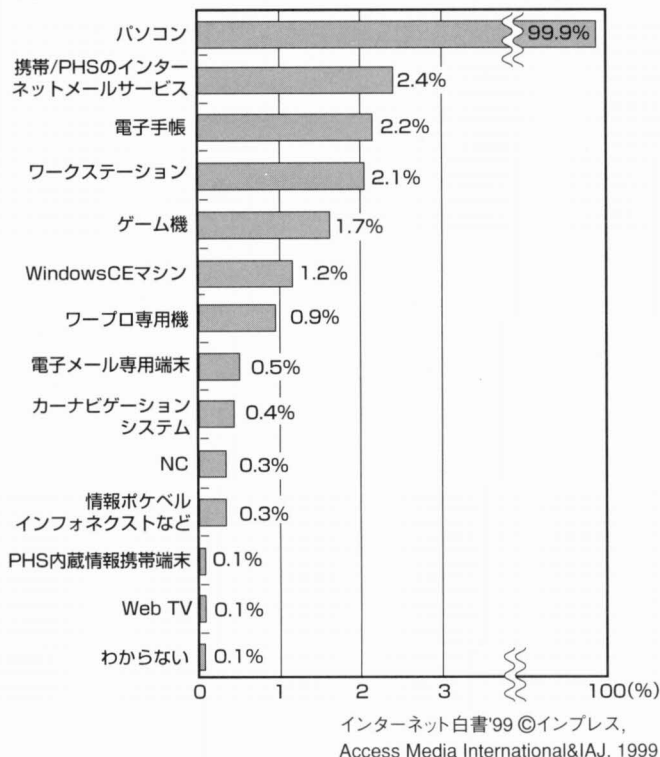
家庭の情報化

家庭での利用が増加

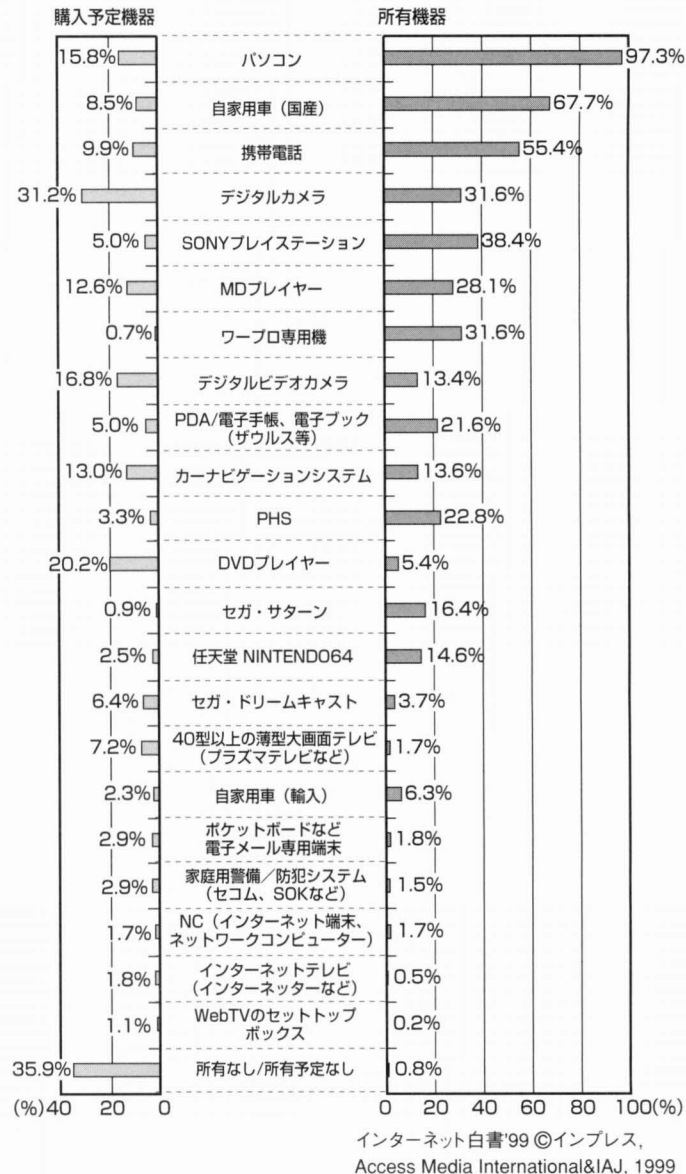
資料1-2-46 インターネット利用の家族人数 N=1,606



資料1-2-47 インターネットを利用している機器 N=1,606



資料1-2-48 現在所有している機器と購入予定機器 N=1,606



解説

インターネットの利用人口が増加している背景には家庭内で複数の利用者が存在するようになったことが大きな要因として挙げられるが、この調査では42.8%が家庭内で自分以外のインターネット利用者が存在すると答えている。

このようにインターネットの利用者が増加するとともに家庭内の情報化も進んできている。

まず家庭内に限定せずインターネットを利用するための機器を聞いた。今回の調査では「パソコン」(99.9%)が多いのは当然として、それ以外の機器を併用している利用者も増えている。その中で今回最も多かったのは「携帯電話/PHSのインターネットメールサービス」

(2.4%)であるが、同じ通信キャリアのサービスを受けるための「電子メール専用端末」(0.5%)、「情報ポケベルインフォネクストなど」(0.3%)などの利用者が見られたことも今回の特徴であった。次に家庭内に所有している機器を聞いたが、ここでも「パソコン」(97.3%)が最も多く、次いで「自家用車(国産)」(67.7%)、「携帯電話」(55.4%)、「SONY PlayStation」(38.4%)、「デジタルカメラ」(31.6%)、「ワープロ専用機」(31.6%)、「MDプレイヤー」(28.1%)の所有率が高い。購入予定機器では「デジタルビデオカメラ」(16.8%)、「パソコン」(15.8%)、

「カーナビゲーションシステム」(13.0%)、「MDプレイヤー」(12.6%)が高く、引き続き「デジタルカメラ」や「MDプレイヤー」の所有率が上がると予測できる。尚、「パソコン」の所有者(97.3%)がインターネットを利用するための機器で「パソコン」(99.9%)と答えた利用者より低い理由は、インターネットの利用に学校・勤務先ではパソコンを利用して、家庭ではそれ以外の機器を使うという利用者が存在するためである。

(矢野さよみ)

アクセスメディア インターナショナル株式会社



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp